

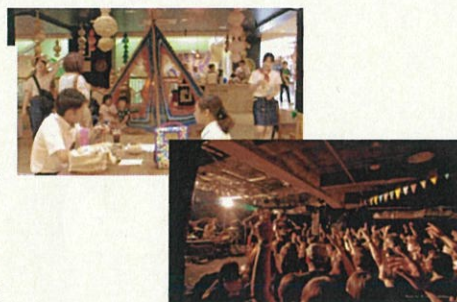
平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州出身の若者に向けたイベントによる魅力発信事業
事業主体 (連絡先)	信州帰省フェス実行委員会 (080-3602-6821)
事業区分	オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,461,635 円 (うち支援金: 2,441,000 円)

事業内容

信州の出身者に向けた「地域力」の発信を「信州帰省フェス」を通して行います。

若者がUターンを決める条件は、「地域」としての魅力が非常に重要になってくるためです。そのためには、お店や企業、また「若者が集まる場づくり」も含めた地域としての魅力を発信していくことが重要であると考えています。そこで、約15の県内に店舗を構え、信州の魅力を活かした飲食物や雑貨の販売や、県内企業の展示、そして音楽ライブを通して、「観る、知る」から、信州の魅力を体感してもらう「信州帰省フェス」を2017年8月17日に長野アゲインで実施しました。



【マーケットとライブの様子】

【目標・ねらい】

- ① 若者を主な対象とした信州の魅力の発信。
- ② 長野県出身学生によるコミュニティづくり
- ③ イベントを装置とした信州の企業と若者のコミュニケーション促進

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・推計1780名程が来場し、信州の魅力に多様な形で気づいてもらうことができた。

また、信州を軸に若い世代をターゲットとしたイベントを行うことを通して、信州に対する意識改革のキッカケにもなった。

・25名程度の信州出身、在住の学生による地域の魅力発掘と発信を行うコミュニティができた。本イベントを全て学生が運営することを通して、企画力や情報発信力といった、県内の多くの企業に必要とされている能力を本事業によって育成することができる。

※自己評価【B】

【理由】

昨年より多くの来場者を記録することができたが、企業の協力を得ることが、企画内容とスケジュールの都合上、難しかった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・昨年開催した1回目を改善する形式で、今回は実施したが、本イベントや学生によるコミュニティの本質的なあり方について再考していきたい。

・来年は、規模や参加者数ではなく、質をあげていくことや、一番届けたい対象に対して、届くような取り組みを検討していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある